



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月8日

上場会社名 株式会社ビー・エム・エル 上場取引所 東証一部
 コード番号 4694 URL http://www.bml.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)近藤 健介
 問合せ先責任者 (役職名)代表取締役専務執行役員 (氏名)大塚 敬 (TEL)03(3350)0111
 企画本部長
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月11日 配当支払開始予定日 平成28年12月2日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	56,535	3.5	5,608	26.1	5,759	25.2	3,560	30.2
28年3月期第2四半期	54,623	3.1	4,446	6.4	4,599	5.3	2,735	12.5

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 3,784百万円(28.0%) 28年3月期第2四半期 2,956百万円(13.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	83.81	83.53
28年3月期第2四半期	64.39	64.18

(注) 当社は、平成28年9月1日付で普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割を行っております。
 1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	102,371	68,240	63.5
28年3月期	99,394	65,206	62.5

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 65,045百万円 28年3月期 62,123百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	30.00	—	30.00	60.00
29年3月期	—	17.50	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	17.50	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無
 当社は、平成28年9月1日付で普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割を行っております。
 平成28年3月期については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	111,500	2.3	9,480	12.5	9,890	12.0	6,110	12.6	143.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 — 社、除外 — 社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

29年3月期2Q	44,014,726株	28年3月期	44,014,726株
29年3月期2Q	1,533,138株	28年3月期	1,532,772株
29年3月期2Q	42,481,901株	28年3月期2Q	42,479,110株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

(注) 当社は、平成28年9月1日付で普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割を行っております。株式数については、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
4. 補足情報	10
販売の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

わが国では、急速な高齢化の進展や医療の高度化を背景に国民医療費が過去最高を更新し、今後も増加が見込まれていることから、各種の医療制度改革が実施され、医療費抑制に向けた様々な取り組みが行われております。

受託臨床検査業界におきましては、今年度は2年毎に実施されている診療報酬改定の年度にあたり、検体検査に係る保険点数（公定価格）は、全体として大きな引き下げはなかったものの、業者間競争が続いていることから、事業環境は引き続き厳しい状況にあります。

こうした中、予定しておりました施策の費用発生が、一部、遅れている影響もあり、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高56,535百万円（前年同期比3.5%増）、営業利益5,608百万円（前年同期比26.1%増）、経常利益5,759百万円（前年同期比25.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益3,560百万円（前年同期比30.2%増）となりました。

以下に事業別の概況をご報告いたします。

臨床検査事業につきましては、現場と本部の連携を強化し、クリニック市場の開拓を図るとともに、大型施設へのFMS/ブランチラボ方式（検査機器・システムなどの賃貸と運営指導/院内検査室の運営受託）による提案営業、既存ユーザーへの重点検査項目拡販などの深耕営業、さらに取引先毎にきめ細かい採算管理を進めてまいりました。

この結果、臨床検査事業の売上高は、前年同期比3.9%の増収となりました。

その他検査事業につきましては、食品衛生事業において、(株)BMLフード・サイエンスで食品衛生コンサルティング、ノロウイルス検査等が順調に推移いたしました。これらにより、売上高は前年同期比4.5%の増収となりました。

以上の結果、検査事業の売上高は53,928百万円と前年同期比3.9%の増収となりました。

医療情報システム事業につきましては、診療所版電子カルテ「クオリス (Qualis)」と「メディカルステーション (MS)」のラインアップにより、引き続き新規契約の獲得と既存ユーザーへのリプレイスを推進しましたが、前年のOSサポート終了に伴う入替の反動を受け、既存ユーザーへのリプレイスが減少したことなどから、売上高は前年同期比4.9%の減収となりました。

その他事業につきましては、(株)岡山医学検査センターの調剤薬局事業の売上が薬価（公定価格）の引き下げの影響で減少し、その他事業全体の売上高は前年同期比3.6%の減収となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の連結財政状態は、総資産102,371百万円（前期末比2,977百万円増）、純資産68,240百万円（前期末比3,033百万円増）、自己資本比率63.5%（前期末比1.0%増）となっています。

主な増減項目は、資産の部では、流動資産で現金及び預金が2,772百万円増加しています。また、純資産の部では利益剰余金が2,923百万円増加しています。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前年同期に比べ4,670百万円増加し、36,619百万円となりました。各活動区別のキャッシュ・フローの状況及び主な増減要因は、以下のとおりです。

営業活動によるキャッシュ・フローは、6,212百万円の資金収入（前年同期比72百万円収入増）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、3,078百万円の資金支出（前年同期比1,398百万円支出増）となりました。これは主に、定期預金の預入による支出が1,030百万円、有形固定資産の取得による支出が687百万円、それぞれ増加したことなどによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、1,426百万円の資金支出（前年同期比148百万円の支出減）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想の修正について

平成29年3月期 通期連結業績予想数値の修正 (平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A) (平成28年5月10日発表)	110,500	8,700	9,200	5,500	129円47銭
今回修正予想 (B)	111,500	9,480	9,890	6,110	143円83銭
増減額 (B - A)	1,000	780	690	610	—
増減率 (%)	0.9	9.0	7.5	11.1	—
(ご参考)前期通期実績 (平成28年3月期通期)	109,024	8,429	8,830	5,424	127円70銭

通期業績予想修正の理由

平成29年3月期通期において、売上高は上期の増収効果により期初予想値を若干上回る見込みとなりました。利益面については、従業員の処遇改善等による人件費上昇の影響による減少が見込まれるものの、上期の増収効果により、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益とも期初公表の予想値を上回る見通しとなりました。かかる状況に鑑み、平成28年5月10日に公表しました平成29年3月期連結業績予想を上記のとおり修正いたします。

※ 上記予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しております。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。この結果、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響額は軽微であります。

(4) 追加情報

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	37,037	39,809
受取手形及び売掛金	19,808	20,353
商品及び製品	199	192
仕掛品	535	528
原材料及び貯蔵品	1,864	1,932
その他	2,415	2,308
貸倒引当金	△85	△49
流動資産合計	61,774	65,074
固定資産		
有形固定資産		
土地	13,068	13,067
その他(純額)	15,474	15,563
有形固定資産合計	28,542	28,630
無形固定資産		
その他	3,601	3,422
無形固定資産合計	3,601	3,422
投資その他の資産		
その他	5,556	5,329
貸倒引当金	△81	△86
投資その他の資産合計	5,475	5,243
固定資産合計	37,619	37,296
資産合計	99,394	102,371
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,068	14,427
未払法人税等	1,937	1,929
その他	10,419	9,925
流動負債合計	26,426	26,282
固定負債		
役員退職慰労引当金	178	171
退職給付に係る負債	4,848	4,948
その他	2,734	2,729
固定負債合計	7,761	7,848
負債合計	34,187	34,131

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,045	6,045
資本剰余金	6,647	6,647
利益剰余金	50,463	53,386
自己株式	△1,241	△1,242
株主資本合計	61,914	64,836
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	471	438
退職給付に係る調整累計額	△262	△229
その他の包括利益累計額合計	209	209
新株予約権	129	129
非支配株主持分	2,953	3,064
純資産合計	65,206	68,240
負債純資産合計	99,394	102,371

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	54,623	56,535
売上原価	34,812	35,541
売上総利益	19,811	20,993
販売費及び一般管理費	15,365	15,385
営業利益	4,446	5,608
営業外収益		
不動産賃貸料	33	32
その他	174	175
営業外収益合計	207	208
営業外費用		
支払利息	25	21
不動産賃貸原価	16	15
投資有価証券運用損	5	12
その他	6	7
営業外費用合計	54	57
経常利益	4,599	5,759
特別利益		
固定資産売却益	3	0
特別利益合計	3	0
特別損失		
固定資産除却損	9	16
投資有価証券評価損	-	9
その他	0	0
特別損失合計	10	26
税金等調整前四半期純利益	4,592	5,732
法人税、住民税及び事業税	1,670	1,925
法人税等調整額	△25	23
法人税等合計	1,645	1,949
四半期純利益	2,947	3,783
非支配株主に帰属する四半期純利益	212	222
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,735	3,560

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	2,947	3,783
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	48	△32
退職給付に係る調整額	△38	34
その他の包括利益合計	9	1
四半期包括利益	2,956	3,784
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,744	3,560
非支配株主に係る四半期包括利益	212	224

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,592	5,732
減価償却費	2,307	2,299
のれん償却額	493	158
支払利息	25	21
売上債権の増減額(△は増加)	△439	△550
たな卸資産の増減額(△は増加)	△111	△53
仕入債務の増減額(△は減少)	917	358
未払消費税等の増減額(△は減少)	△902	△40
その他	254	217
小計	7,137	8,144
利息の支払額	△25	△21
法人税等の支払額	△1,078	△1,984
その他の収入	107	73
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,140	6,212
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,237	△2,267
定期預金の払戻による収入	1,098	1,203
有形固定資産の取得による支出	△955	△1,643
無形固定資産の取得による支出	△534	△422
その他	△51	51
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,679	△3,078
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△744	△685
配当金の支払額	△743	△637
その他	△87	△104
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,575	△1,426
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,886	1,708
現金及び現金同等物の期首残高	29,061	34,910
現金及び現金同等物の四半期末残高	31,948	36,619

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

該当事項はありません。

4. 補足情報

販売の状況

検査区分		前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)		増減率(%)
		金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
検査事業	臨床検査事業 生化学的検査	22,814	41.8	23,218	41.1	1.8
	血液学的検査	4,857	8.9	4,924	8.7	1.4
	免疫学的検査	11,020	20.2	11,426	20.2	3.7
	微生物学的検査	3,033	5.5	3,191	5.7	5.2
	病理学的検査	3,618	6.6	3,744	6.6	3.5
	その他検査	4,648	8.5	5,435	9.6	16.9
	(臨床検査事業小計)	49,992	91.5	51,941	91.9	3.9
	その他検査事業	1,900	3.5	1,987	3.5	4.5
	検査事業小計	51,893	95.0	53,928	95.4	3.9
医療情報システム事業		2,009	3.7	1,911	3.4	△4.9
その他事業		720	1.3	694	1.2	△3.6
合計		54,623	100.0	56,535	100.0	3.5

(注)金額には、消費税等は含まれておりません。